

国際協働学習の設計と評価

プロジェクトリーダー 金沢星稜大学 清水和久

サブリーダー：西野 聡子（金沢市立緑小学校）



○はじめに

外国語の教科化を「1年後」に控えるなかで、外国語を学び、使う必然性の確保が重要である。小学校6年の外国語では、特に自文化の表現場面が多く取り入れられている。その表現を実際に交流している外国の児童を対象と発信して行うことができるのがこのプロジェクトである。外国語が教科化される今、外国語での情報受信発信の必然性を持たせる必要がある。そのために、教師自身が交流用の掲示板を通して外国の教師と交渉し、国際協働学習を進めることで、子供たちに外国語を使う機会を提供し、協働学習の面白さをつなげていくことができる。

○プロジェクト概要



世界的な教育組織であるiEARNのプロジェクト（日本支部はJEARN <https://www.jearn.jp/>）に参加し、教師が外国の先生とつながると共に、子供たちも外国の学校と実際に交流する。iEARNのプロジェクトの中では「テディベアプロジェクト」に取り組む。交流校とは、ぬいぐるみを交換留学させ、日本では、送られて来たぬいぐるみを通して日本文化を紹介する。また日本から送ったぬいぐるみは、外国の交流相手の子供たちが、そのぬいぐるみを通して現地の生活の様子や文化を紹介する。最終

的には、ぬいぐるみの留学生はそれぞれの国に帰国する。その時には滞在したたくさんの写真や日記とともに帰ることになる。

○活動のゴール

テディベアプロジェクトに参加し、交換留学生であるぬいぐるみを外国に送り、外国から日本にやってきたぬいぐるみを通して自国の文化を発信する。交流校の教師と相談しながらゴールを目指す。

○学びのゴール

外国の学校に対して、表現活動（写真、動画、日記交換など）を通して日本の情報を発信するとともに外国からの情報を受け入れる。また英語の授業での活用も図る。

○金沢星稜大学の支援

金沢星稜大学人間科学部こども学科の清水ゼミの学生がこのプロジェクトの支援をおこなう。海外の先生との橋渡し役となり、コミュニケーションをサポートする。また、参加の先生方は月1回、国際協働学習研究会において、支援の大学生とともに、進捗状況報告や今後の動きについて相談しプロジェクトを進める。

○2019年度プロジェクト参加校

- ・金沢市立大野町小学校3年生1クラス、
- ・金沢市立額小学校6年2クラス、
- ・金沢市立市四十万小学校6年2クラス、
- ・金沢市立花園小学校6年1クラス、4年1クラス、
- ・星稜中学校1年3クラス、
- ・七尾市立田鶴浜小学校5年2クラス（交流のみ）

○年間計画

5月	参加者募集
6月	キックオフ会（zoom 参加OK） 導入授業100人村ワークショップ
7月	JEARN オンラインへの申し込み 交流校のマッチング
8月	フォーラムへ書き込み練習
9月	交流校の決定、交流に当たっての留意点の確認
10月	テディベアの交換 スタート時からの経過報告、学校紹介の準備
11月	学校紹介、テレビ会議 テーマの設定
12月	外国の交流校と継続交流（滞在記の作成、ネット上にアップ）
1月	テディベアの滞在記のコンテンツ作成
2月	テディベアの帰国 まとめ

研究会活動報告

本報告では、月1回の国際協働学習会（全7回）の記録を中心に記載する。また参加校の教員（大野町小学校 角納教諭）の報告も掲載する。

○第1回国際協働学習研究会（6月） キックオフ会 オリエンテーション

・子供たちが世界に目を向けられるように、国際協働学習導入授業として学生が実施する「世界が、もし100人の村だったらワークショップ」のねらいと含まれる内容の説明。

100人村ワークショップの内容

世界の人口や教育に関するクイズなどを出して、関心を高める。

- あいさつ •クイズ •居住地分布 •富の分配率 •人口比 •薬
- 昨年度の実践紹介 角納先生より（大野町小の場合）

英語を伝える手段として重要であると追いう必要感を持たせること、

テディベアプロジェクトで交流することで、英語を学ぶ目的意識と 相手との1対1対応にすることで、相手意識が高まることの確認。ツールとしてLINEを使うことで、頻繁に写真や動画を送り合うことができた。また送りあうベアに人格を与え、ストーリー性をもたせる。（例：醤油屋のあとつぎとしてのベア）。日本から送ったものは、向こうからも送られてくる。

- 質疑応答

ラインを使う効果→とても手軽だが、個人のものなので、通信量も含めて扱いに注意する。

ベアの用意の仕方→担任が用意すると安心だが、児童に問えばいっぱい集まる

- 交流相手を見つけるためにJEARNに登録する必要がある（会員年間3000円）

○第2回国際協働学習研究会（7月）交流校の決定

（1）交流校の決定 日本側6校 台湾側5校

金沢市立額小学校	一台湾	台北市五常國民小学校
金沢市立四島小学校	一台湾	嘉義市精忠國民小学校
金沢市立大野町小学校	一台湾	高雄市新甲國民小学校
金沢市立花園小学校	一台湾	嘉義市宣信國民小学校
七尾市立田鶴浜小学校	一台湾	台北市日新小学校
星稜中学校	一台湾	台北市五常國民小 嘉義市精忠國民小

（2）100人村小学校出前ワークショップの実施と感想

1) 額小での実践 児童の感想

- 「楽しかった」というアンケート結果が多かった
- 「内容がよくわかった」 英語を習う理由がわかった。貧しい人とお金持ちの差が衝撃的だった。
- 「外国の人と交流してみたい」 興味をもった。英語が苦手なので、あまり会話ができないから。
- 外国について、初めて知ったことが多かった。世界の中の自分としての、さまざまな情報の中で体感をしたが、分かっていないものもあつたが、関わりたい思いや、楽しかったという思いを多くもった。

2) 四十万小での実践

- 児童は、興味をもって、分かりやすく理解した。飽をもらえる国、もらえない国の貧富の差を体感した瞬間が深まった場面だった。自分たちを規準にして当たり前のことが、当たり前ではなかったことを実感する良い機会となった。「かわいそう」の印象をもった子がどのように変容するか。

○第3回国際協働学習研究会（7月）

（1）交流の先生と日本の先生とのTV会議の実施（台湾 宣信小、精忠小、五常小）

- 自己紹介、顔みせ
- 相手校のクラスと人数の確認、
- 先生にとってはTV会議のイメージをもってもらう。

（2）連絡事項

- iPadや、デジカメの大学からの貸し出し

- ・児童向けのテディベアプロジェクト講座の出前授業の実施（額小9）
- ・台湾の交流校とのグループ別LINEグループの作成（含む先生や支援学生）
- ・送るベアを早めに決めて、相手校に送るまで、ベアとの活動を撮りだめてください。

○第4回国際協働学習研究会（10月）

・内容

各校の10月までの活動紹介、自校での活動内容、角納先生の活動紹介（台湾からの荷物）
LINEでの交流内容紹介、



実際にどのようなぬいぐるみを送るか決める段階
自分たちの代表なので、服装や趣味などを話し合っただけで決める必要がある。
タブレットなどがあれば、左のような図案をもとに服装を考えさせ、日本人のアイデンティティについて話させることができる。大体は、男子の代表、女子の代表ということになるので、男女1体ずつのぬいぐるみが選ばれることが多い。学校によっては、5、6体になることもある

（1）ここまでの各校の実践内容

1) 額小

- ・ラインで相手校の先生と頻繁にやりとり。
- ・郵送：ベア名「だいきち」、自己紹介カード（英語の既習を生かして）の作成

2) 花園小6年生

- ・台湾の姉妹校とTV会議を行った。iPadから音声を出したが、外付けスピーカーではハウリングを起こすので、課題。台湾の小学生が、英語で話すのを聞いて、「英語って大切やな。」と感想。
- ・郵送：「ミシェル」ベア、自己紹介カード、千羽鶴
- ・TV会議までに、1対1のマッチングを行う予定。

3) 花園小4年生

- ・自己紹介カードを書く
- ・郵送：「はなちゃん」ベア、自己紹介カード、
- ・名簿をラインで送る予定
- ・相手国からベアの紹介名前は「Coffee」

4) 四十万小6年生

- ・ぬいぐるみを募集し、5体決定。ぬいぐるみの性格や好きなものを設定。相手国での人気の食べ物や場所などを意識させたいと思ったが、児童はいまひとつ意識はなかった。
- ・郵送：「B太郎」「ブディちゃん」「原辰徳」「りんごちゃん」「リブ」

5) 四十万小6年生

- ・ぬいぐるみ5体決定。ぬいぐるみの好きな物を設定。金沢の好きなもの（金箔）などにした。
- ・郵送：「ジバニャン」「クマタ」自己紹介カード

6) 大野町小3年生

- ・相手校から荷物が届く（ぬいぐるみ「ジョイ」やおみやげ台湾の国の形どったもの）
- ・相手校からラインで、動画が送られてくる。自己紹介。マッチングした後だと内容も変わるかも。
- ・おみやげを渡してペアリング終了。

（2）発信するテーマをSDG'sと絡めて意識する

1) 2030年に達成するSDGs 17の関連テーマ

①貧困をなくそう	②飢餓をゼロに	③すべての人に健康と福祉を
④質の高い教育をみんなに	⑤ジェンダー平等を実現しよう	⑥安全な水とトイレを世界中に
⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	⑧働きがいも経済成長も	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう
⑩人や国の不平等をなくそう	⑪住み続けられるまちづくりを	⑫つくる責任つかう責任
⑬気象変動に具体的な対策を	⑭海の豊かさを守ろう	⑮陸の豊かさを守ろう
⑯平和と公正をすべての人に	⑰パートナーシップで目標を達成しよう	

国際協働学習において、世界で共通して考えていかねばならないSDGsのテーマについて、テディベアプロジェクトの中に、ぜひ取り入れてほしい。ポイントは、既存の教育課程の中に、さりげなく、盛り込むこと。次回アイデア共有。

2) 国際交流プロジェクトで子供が変わることは何か？

- ・英語の必要性を実際に理解した
- ・英語を实际使ってみる場面がある、先生も子どももいっしょにはらはらどきどきした場面
- ・英語を使って外国の人と話してみたい子が増えた
- ・学級経営がうまくいっているクラスは、国際交流でもそのよさを引き出せる教育

○第5回国際協働学習研究会（11月）

（1）各校の交流内容

1) 額小学校

- ・台湾より日本に台湾ベアが到着 台湾へLINEで写真送付
- ・ポストカード、パンフレット作成中。内容は、1日の学校生活、
- ・台湾で人気のあるもの、観光地も相手に聞いてみたい

2) 花園小学校6年

- ・10月23日に台湾より日本にベア到着

3) 花園小4年生

- ・10月23日 台湾より日本着 写真送付
- 学校紹介のビデオ作製の計画
- ビデオ制作中、それに日本語をつける入れる

4) 四十万小6年生

- ・ぬいぐるみ5体決定。ぬいぐるみの好きな物を設定。金沢
- ・郵送：「ジバニャン」「クマタ」自己紹介カード
- ・TV会議日程打ち合わせ中

5) 大野町小3年生

- ・日本から送った未来を台湾の先生がコンサートへ連れてった写真有
- ・台湾から1人1人にクリスマスカード届く

（2）テーマを絞った話し合いを研究会で実施

テーマ A.生きた英語力、B.主体的に働く姿を、C.表現力コミュニケーション力

A.生きた英語力をつけるには

- ・英語を使う必要感、相手意識を持たせる
- ・ペアーを決めて1対1にすることで相手意識は高まる。
- ・伝えるもの 学校紹介、地域紹介
- ・手立て TV会議、ビデオ制作



- ・教科書に出てくる英語の表現を相手に伝え、その表現を使ったビデオを送ってもらう

B.主体的に働く姿をつけるには

- ・活動の見通しをこどもに持たせる。
- ・教師だけが段取りをしないで、交流のための係分担をつくる。広報、企画など、子供たちからいろいろアイデアを募る。
- ・知りたいこと、知らせたいことを焦点化、

C.表現力やコミュニケーション力をつけるには

- ・TV会議やビデオで、身振り手振りで伝える。
- ・伝えたい思いを大事にすることで、表現がついてくる
- ・前もって準備したもののほかに即興的な反応力もつける
- ・伝えたものの反応を意識的にもらう。
- ・積極的に様子を伝える。日常の様子をLINEで伝える。

(3) 台湾ミッション

大学生が、交流先の台湾の小学校に訪問予定。小学生からミッションをもらい遂行してくる予定

ミッション例：

- ・子供たちがかいたクリスマスカード & New year cardを台湾に持って行って渡す。直接返事ももらってくる。
 - ・現地の小学校に行つて是非みてきてほしいところをビデオで撮影してくる
 - ・台湾で代わりに体験してきてほしいこと（食べ物、景色）をしてくる
 - ・日本の紹介の動画をつくれませんか？台湾で上映 日本語でもOK ⇒学生がテロップ入れます。
- *帰国後何らかの形で学生が小学校で報告をさせていただければと思います

第6回 国際協働学習研究会（12月）

(1) 各校の活動紹介

	交流内容	追加活動	話題等
四十万小 6年	ベアを使っていくつかやりとり 金沢紹介	TV会議12.13 何をやるか検討する	学校の様子 有名な場所建物
花園小 6年 4年	ベアは持ち帰らず飾っている段階 歌や体育授業の様子の動画作成 児童の撮影	テレビ放送学校紹介 でイメージをもつ	学校の様子 有名な場所建物 学校の様子
額小 6年	ベアを連れて行って学校の写真撮影 →自宅に持ち帰って撮影 学校紹介	ポストカード郵送 TV会議 1月に。 国語科：金沢の魅力 英語科：金沢紹介	台湾で人気のあるもの 観光地 有名な場所 台湾が親日的な理由は、 八田與一の活躍
大野町小 3年	カードが届く。個人向けの手紙が届く。 マッチング済み ・どんな勉強をしているか ・制服はあるか ・流行っているお菓子 ・好きな飲み物 ・給食はある？好きな給食は？		学校生活

星稜中	<ul style="list-style-type: none"> 届いたが3クラスそろそろのを持って いるためまだ見せていない 一人ずつの写真が郵送されてきた。 マッチングしたがまだ知らせていない。 1A 1B 1Cで 対応に差がある。 	<p>常に質問事項を自由に書けるようにした英語の表記の授業に使いたい。 正しく表記することにこだわる生徒の気持ちを大切に</p>	1対1での手紙のやりとり
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	--------------

アドバイス

- ・質問をためておくのもいいが、聞きたいことを、1つ1つこまめにラインで送るなどして、行き来を大切にすると良い。
- ・時間割を送ってもらうなど、欲しい情報をもらうことも1つの方法。
- ・建物や食べ物など、ネットでとれる情報のやりとりも良いが、交流相手の興味のあるものや、好きな物、大切にしていることや考え方についてふれていくのも、交流活動の醍醐味である。

(1) 大学生の台湾の交流校訪問予定

- 12月31日 台北着 台北市内観光 夜 年越し
- 1月1日 九分（千と千尋で有名）、十分観光（ランタン飛ばし）
- 1月2日（木） 午前 台北市五常小 星稜中 額小61 額小62
- 1月2日（木） 午後 台北市日新小 田鶴浜小5年
- 1月3日（金） 午前 嘉義市 精忠小 四十万61 四十万62、星稜中C
午後 嘉義市 宣信小 花園小6年、4年
- 1月4日（土） 1日 高雄市 新甲小 大野町小3年
- 1月5日（日） 帰国



台湾 精忠国民小学校（英語の授業）



五常国民小学校（授業を一緒に受ける日本のペア

(2) 大学生の台湾での予定

日本からのおみやげやカードなどを渡す。日本紹介、金沢紹介、学校紹介などの動画
台湾の授業の英語の授業の参観。台湾の児童の意識調査

○第7回国際協働学習研究会（1月）

1. 大学生の台湾の小学校訪問報告
 担当校の教員にipadを使っての個別プレゼンの実施。
 各小学校へ出向いて行うプレゼンの打ち合わせ

（2）各校の冬休みの活動の様子

	交流内容	話題等
四十万小 6年	冬休み ベアアのホームステイ デジカメで写真 お正月の様子を撮影して印刷 下半分にコメントを書く予定	学校の様子 有名な場所建物 今後、大学生の台湾報告
花園小 6年 4年	教室にいる 金沢の魅力をあいちゃんにプレゼンする TV会議をしたい	学校の様子 有名な場所建物 今後、大学生の台湾報告
	ベアア「Coffe」ホームステイの予定 注意点のお便り	学校の様子
大野町小 3年	授業参観で総合の発表会（テーマ：日本と台湾のお菓子とお茶の比較）外国との交流 台湾一月餅+飲茶（ヤム茶） この活動で意欲が上がった。 4月に比べてのアンケート調査をおこなうと自信がついたが多くなった	学校生活 今後、大学生の台湾報告
星稜中	A冬休みに持って帰れたクラス1つ 自己紹介と手紙を2回書く機会があった 今後TV会議の実施 五常小と実施	1対1での手紙のやりとり

○まとめ これからの「国際協働学習の設計と評価」について

2020年度からは、小学校に、外国語が開始される。今回の実践ではできなかったが、次年度地元で採用される予定の東京書籍の外国語の5, 6年のカリキュラムの単元計画をもとに、このテディベアプロジェクトとの関連を考えてみた。年間を通してこのテディベアプロジェクトをベースに置くことで、英語を学ぶ必然性、相手意識を持った交流ができると考える。この交流は児童の主体性を高め、立ちどころ課題は協働性を育むと考える。そして、ギガスクール構想により、1人1台のタブレットが配置されれば、テディベアの滞在日記や自己紹介ビデオ、学校紹介ビデオなどに有効に活用されるはずである。

実際に伝えたい相手が海外にいること、英語で伝える必要性、英語だけでは伝えられない詳細な部分は、工夫して写真や動画を使うことなどを意識させるきっかけとすることができる。実際に伝えたい相手がいるという本物体験で子供たちの表現力を、どのように伝えるかで思考力を高めていくことができるはずである。

表1 New Horizon Elementary東京書籍5, 6年生と テディベアプロジェクトとの関係表

	テディベアプロジ	内容、ねらい	5年の単元との関係	5年の単元との関係
1	導入	自分たちの代表としててぬいぐるみを留学させることの意味づけ		
2	ベアの性格付け、日本人とは	ベアのパスポートを作ることで、日本人とは何かを考える	UNIT-1 Hello friends	Unit 1 This is me
3	自己紹介、学校紹介	送り出すベアと一緒に生活し、自分と同一視する中で、自己紹介の写真を撮る、	Unit-2 When is your birthday? Unit-3 What do you want to study?	Unit 2 How is your school life
4	海外留学先を決め、出国	行かせたい外国を決めるために外国の情報を調べる		Unit-3 Let's go to Italy
5	外国からの留学生受け入れての日本紹介	外国からやってきたベアの留学生をクラスの1人として迎え、学校や日本を紹介する	Unit-4 He can bake bread well Unit-5 Where is the post Office Unit-6 What would you like? Unit-7 Welcome to Japan	unit-4 summer vacation in the world (Japanese school)
6	日本からの行った留学生の情報を知る	送り出した留学生の情報も同じ英語のセンテンスを使って発信してもらう	Unit-4、 Unit-5 Unit-6 は同じ (partner school)	unit-4 summer vacation in the world (partner school)
7	クリスマスカード new yearカード	交流先の子どもとベアを決めてカード交換し、身近に感じてもらう	Unit-7 Welcome to Japan	
8	テーマを決めての交流 (TV会議)	1回目はお楽しみTV会議で生の自己紹介や歌の実施。2回目は共通するテーマ (SGDs等) についての情報交換	Unit-8 Who is your hero	Unit -5 We all live on Earth Unit-6 Let's think about food
9	思い出をまとめて留学生を送り出す	滞在中の様子の写真とコメントを加えた日記を添えてベアを出国させる		Unit-7 My best memory
10	留学生したベアを迎える	留学していたベアの滞在記をもとに外国でのベアの様子を知る		Unit-8 My future .My dream

以下 プロジェクト参加メンバー 大野町小学校 角納教諭の実践報告

2019年度 国際協働学習ティペアプロジェクト 角納教諭の報告書

交流国： 台湾（高雄市）			
所属校： 金沢市立大野町小学校	担当教諭 角納 裕信	3年	1組
		22名	
交流相手校： 高雄市新甲國小	担当教諭 サンディ先生	5年	
		28名	

■教科・単元名・時間数等

教科	単元名	時間数
総合的な学習の時間	金沢は和菓子、台湾は？	1h
	日本は総合的な学習、台湾は、なんていう教科？	1h
英語科	自己紹介カードを作って送ろう	2h
	Christmas Card & Happy New Year Cardを作ろう	1h
学級活動	台湾ってどんな国？	1h
	交換留学生をどうやっておもてなししようか？	1h
特別な教科 道徳	13「おもてなし」ってなあに（伝統と文化の尊重） 15同じ小学校でも（国際理解・国際親善）	2h

■学習活動のねらい／つけたい力

①交流相手との活動を通して相手を理解し、自分の思いを伝えようとする力（コミュニケーション力）

②交流相手からの情報による、異文化にふれ、多様な文化を理解する力（異文化理解）

■実施月と学習活動と内容

月	活動内容	児童の姿
9月～10月	<p>相手国と自国の文化理解（調べ活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流国の調べ活動 台湾について、日本とすごく友達であることや、食べ物について、位置についてなど、基本的なことについて教えた。 ・自己紹介カードの作成 自己紹介の英文原稿を作成する。自分の好きなことや興味のあることについて漢字とイラストを描いてカードを作る。交流相手の名前と自分の写真を添えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞いた後、積極的に自学ノートに参考書などで調べた台湾について書いてくる児童もいた。 ・英語で書くことはできないので、自分の好きな事や自分の紹介文を、I like～ I want to be～の後に、漢字やイラストで描くことで伝えられるようにしていた。
9月	<p>伝えたい内容決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決める 「金沢和菓子と台湾月餅（パイナップルケーキ）の共通点は？」 「台湾の友達を通して、私たちの生活との違いを知りたいな。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習で行っている金沢和菓子と茶道文化について学んでいることから、台湾には和菓子に当たるものはあるのかな？と子どもの方から疑問がわいてきた。

<p>9月～2月</p>	<p>交流活動 (動画受信 ・ HomeStay写真 ・ Christmas & HappyNewYearCard作成送付)</p>	<p>・ テディベアの準備 (名前：未来ちゃん・女子) ・ パーソナライズの設定 ・ ジョイちゃん (今年は、テディベアならぬテディラビット) との homestay等思い出写真の送信 (遠足写真も) 児童がジョイちゃんといっしょに、日常の生活の写真を撮る。児童自身がiPadminiを使って撮影し、みんなに紹介するとき、一言コメントをつけて話をする。そののち、教師からLINEで台湾の交流相手の先生へ写真データを送る。 ・ ジョイちゃんとお別れクラスで集合写真を撮る。</p>	<p>・ 自分の好きなスポーツ、趣味などの漢字を書いて、英語の間に挟んで、表現した。(何とかして伝えようとする気持ちの表れ) 例えば、I like 野球のような感じである。I like は、こちらで書いたものを渡してある。(文字を書いて文章にするのは、5年生から) イラストも描いてカラフルに色塗りしてカードを作成することができた。 ・ ホームステイに行った時には、自分たちの文化や生活がわかる様子を中心に、ジョイちゃんを招待するように写真を撮ってこよう、ということで、iPad miniを渡してある。 子どもたちは、子どもたちなりに金沢の和菓子や、日本の文化、ゲームやテレビ番組、漢字練習の宿題等、考えて写真を撮ってきていた。→持って帰ってきたデータをiPhoneにairドロップで移動して、そのままLINEにのせて、交流相手のサンディ先生に送った。</p>
--------------	------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■学習活動の成果と課題 (活動内容や、児童につけたい力について等)

【成果】

- ・ 自分に自信がない児童が多い中で、自己実現、自己有用感を見出すことができ、そのことが自分から積極的に動き出す意欲に繋がっていった。
- ・ 学校と保護者との協力が大切であるが、保護者はプロジェクトの良さを理解してくれ、積極的に手伝ってくれ、より木絆を深めることができた。(テディベアのために食事を準備してくれたりした)
- ・ 単級の学校だからこそ、他からの刺激が必要であるが、その刺激により、学習意欲がほかの科目にも伝播していった。(理科や算数などにも)



日本からの交換留学生「未来」ちゃんも、台湾の高雄でのhomestayの様子